

新日本コーポレーション株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>世界の脱炭素社会への移行に合わせた温室効果ガス削減の取り組みとして、カーボンゼロ点検を実施します。</p> <p>消防設備点検での取り組みとして</p> <p>1. 煙感知器の試験用ガスをフロンガスからノンフロンガスに替えます。</p> <p>2. 熱感知器点検で化石燃料の使用により、加熱試験機が排出する二酸化炭素を自然燃料を使用する事によりカーボンニュートラルが成立し二酸化炭素排出をゼロにします。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	9	消防設備点検において、加熱燃料を自然燃料でも（従前は化石燃料を使用）点検器具が使えるよう環境に配慮した技術開発をする。また同時に資源利用率の向上を図る。	従来使用していた化石燃料を、技術開発により自然燃料に替え、化石燃料150Kℓ（2020年度実績）をゼロにする。
	社会	1・7	1a: 消防設備点検において加熱用燃料を自然燃料に切り替える事により、地上原料を生産してる後発開発途上国の労働を創出する。 7: カーボンニュートラルの循環サイクルにより、加熱燃料がCO2を排出しない燃料になる。（クリーンなエネルギー）	1 自然燃料を使用（150Kℓ/年）する事により、自然燃料栽培に関わる労働環境を促す。 7 自然燃料（150 k ℓ/年）を使用する事により、エネルギーミックスにおいて再生可能エネルギーの割合を拡大させる。
環境	13	消防設備点検において、煙感知器試験用ガスをノンフロンガスに、また加熱用燃料を化石燃料から自然燃料に替える事により、地球温暖化を抑制する。	概ね年間95,000Kg（2020年度実績）のCO2を2022年度からゼロにする。（カーボンニュートラル）	